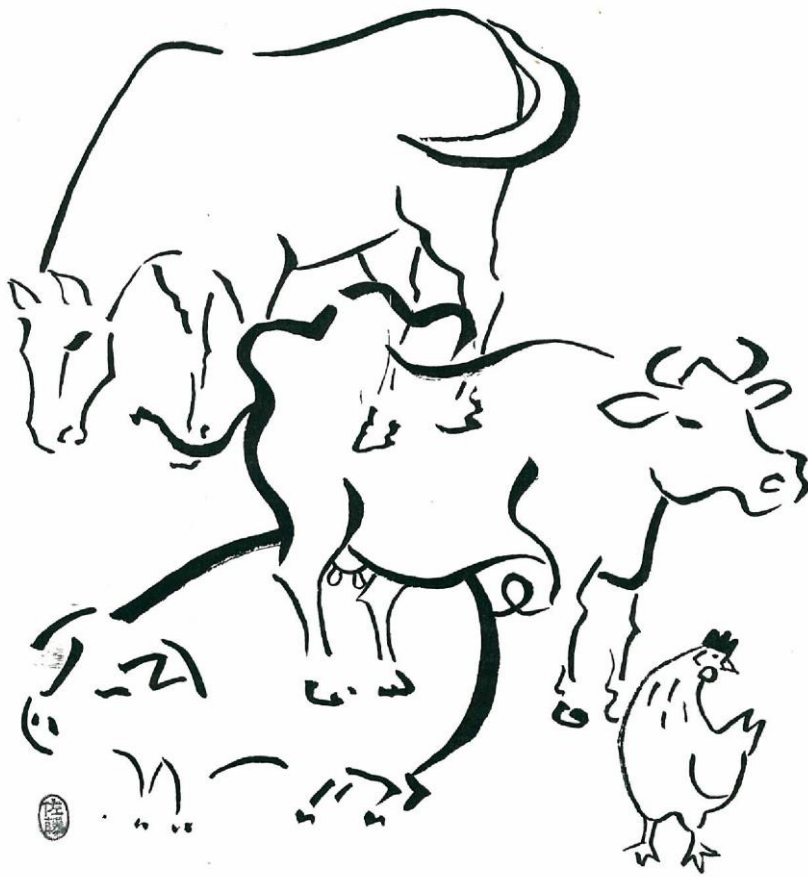


一般社団法人岩手県畜産協会の概要



平成 29 年 7 月

一般社団法人岩手県畜産協会の概要

1 協会の沿革

平成 15 年 7 月 1 日に社団法人岩手県畜産会（昭和 30 年 12 月 19 日設立認可）と社団法人岩手県家畜畜産物衛生指導協会（昭和 47 年 7 月 11 日設立認可）が統合し、社団法人岩手県畜産協会となる。

平成 25 年 4 月 1 日に一般社団法人岩手県畜産協会（平成 25 年 3 月 21 日移行認可）となる。

2 協会の目的及び事業

(1) 目的

畜産経営改善の指導、飼養管理技術の向上、家畜改良の促進及び自衛防疫の推進を図るとともに、安全かつ良質な畜産物生産のための検査、指導等に関する事業を行い、もって畜産の振興に寄与することを目的とする。

(2) 事業

- ① 畜産経営者に対する生産技術及び畜産経営の改善指導に関する事業
- ② 安全良質な畜産物の生産及び家畜の健康保持に係る知識の普及啓発に関する事業
- ③ 畜産及び家畜衛生に関する調査、研究及び広報並びに情報の収集提供並びに指導者の育成指導に関する事業
- ④ 家畜の改良促進のための家畜人工授精用精液の流通調整、家畜の登録及び共進会等に関する事業
- ⑤ 家畜伝染性疾病的の予防及びまん延防止に関する措置等自衛防疫の推進に関する事業
- ⑥ 生乳の検査及び乳質改善の支援に関する事業
- ⑦ 国、岩手県、中央団体等からの助成事業及び受託事業
- ⑧ 肉用牛肥育経営の安定のための生産者積立金の積立及び補填金の交付
- ⑨ 畜産団体の相互調整及び畜産団体の機能向上に係る支援
- ⑩ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

3 会員

(1) 正会員（19 会員）順不同

岩手県農業協同組合中央会、岩手県信用農業協同組合連合会、全国農業協同組合連合会岩手県本部、全国共済農業協同組合連合会岩手県本部、岩手県農業共済組合、（一社）岩手県農業会議、（公社）岩手県農業公社、岩手県農業信用基金協会、（公社）岩手県農畜産物価格安定基金協会、（株）岩手畜産流通センター、岩手県、岩手県市長会、岩手県町村会、（一社）岩手県獣医師会、岩手県中央家畜衛生協議会、岩手県南家畜衛生推進協議会、岩手県北家畜衛生協議会、岩手県動物薬品器材協会、岩手県養豚振興会

(2) 準会員（47 会員）

市町村（33 会員）、農業協同組合等（14 会員）

4 平成 29 年度事業計画 (平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)

(1) 基本方針

国内屈指の地位を誇る本県の畜産は、県農業産出額の過半を占めるとともに、裾野の広い関連産業を抱え、地域経済の活性化に大きく貢献している。

しかしながら、家畜飼養者の高齢化等により、全国と同様に、畜産経営戸数及び飼養頭数の減少傾向が続いている。

そうした中、本県においては、環太平洋パートナーシップ協定（TPP）対策として国が創設した畜産クラスター事業等を積極的に活用して、生産基盤の強化が進められている。当協会は、平成 27 年度から畜産クラスター事業のうち、機械導入事業の本県における窓口団体として、県との緊密な連携の下に事務を推進している。その結果、平成 28 年度については、18 の畜産クラスター協議会の補助金総額が約 3 億 5 千万円に上り、畜産農家の負担を軽減しつつ、経営の近代化及び収益性向上を図ることに少なからず貢献するところとなっている。

その TPP については、昨年 12 月に国会で承認され、関連法案も可決成立した後に、米国の離脱により、当初の 12 か国の枠組みでの発効が立ち消えとなる一方で、早くも米国との二国間協定が取りざたされている状況にある。

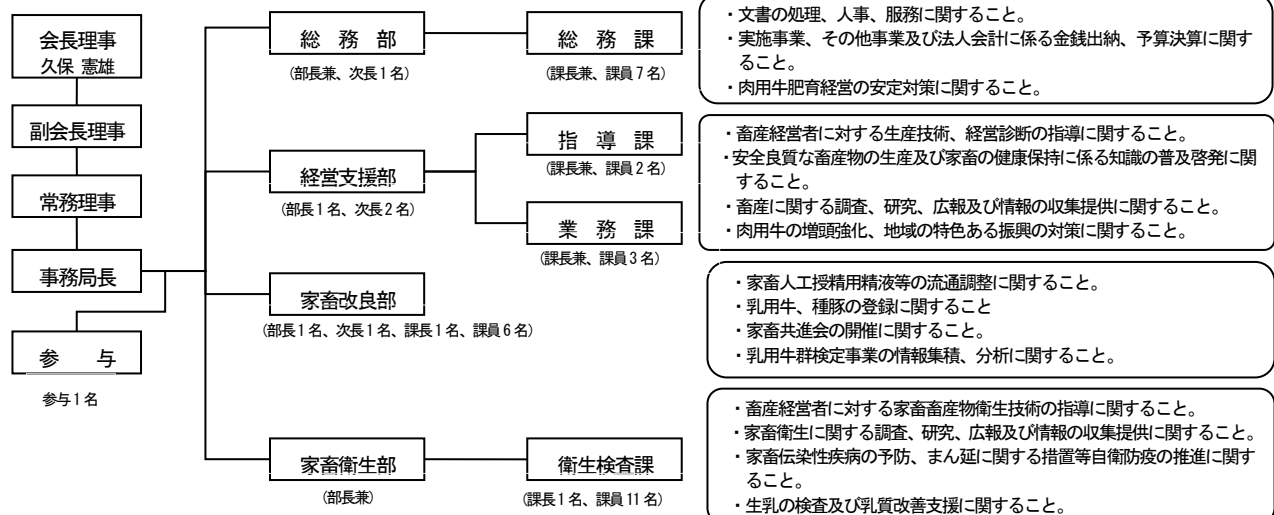
このように、国際情勢が大きく揺れ動く中においても、本県畜産が引き続き国内の主産地として発展し、地域経済を牽引する役割を果たしていくためには、現在取り組んでいる各種対策の一層の推進により、経営の安定化と担い手の育成を図り、盤石な生産構造を築いて行くことが求められている。

このため、当協会としては、国や県の主要施策との一層の整合を図りつつ、次に掲げる重点推進事項を柱として、関係機関・団体との緊密な連携の下に各種事業を実施し、本県畜産の振興に寄与するものとする。

(2) 重点推進事項

- ① 将来を担う経営体を対象とした経営診断・経営技術指導の実施
- ② 地域が連携した収益性の高い経営体の育成支援の実施
- ③ 肉用牛肥育経営安定対策の的確な運用
- ④ 経営向上効果のある家畜人工授精用凍結精液の安定供給・利用推進
- ⑤ 登録制度を活用した家畜の遺伝的能力の向上
- ⑥ 自衛防疫意識の啓発と地域ぐるみのワクチン接種推進
- ⑦ 高精度で安定した生乳検査体制の堅持
- ⑧ 第 11 回全国和牛能力共進会出品対策の推進

5 組織 (平成 29 年 7 月 1 日)



岩手県主要家畜の飼養戸数・頭数

(単位 戸数：戸、頭(羽)数：頭(千羽)、比率：%)

区 分	飼養戸数	飼養頭(羽)数	1戸当たり	対前年(回)比	
			飼養頭(羽)数	飼養戸数	飼養頭(羽)数
乳用牛	963	42,500	44.1	96.3	97.5
肉用牛	4,780	91,800	19.2	98.4	102.5
豚	112	437,000	3,901.8	96.6	101.1
採卵鶏	25	5,414	142.8	96.2	90.3

注) 農林水産省大臣官房統計部(平成29年7月4日公表) 畜産統計(平成29年2月1日現在)より抜粋

1 乳用牛

- ・飼養戸数は963戸で、前年に比べ3.7%減少した。
- ・飼養頭数は4万2,500頭で、前年に比べ2.5%減少した。
- ・1戸当たり飼養頭数は44.1頭で、前年に比べ0.5頭増加した。

2 肉用牛

- ・飼養戸数は4,780戸で、前年に比べ1.6%減少した。
- ・飼養頭数は9万1,800頭で、前年に比べ2.5%増加した。
- ・1戸当たり飼養頭数は19.2頭で、前年に比べ0.8頭増加した。

3 豚

- ・飼養戸数は112戸で、前回に比べ3.4%減少した。
- ・飼養頭数は43万7,000頭で、前回に比べ1.1%増加した。
- ・1戸当たり飼養頭数は3,901.8頭で、前回に比べ176.8頭増加した。

4 採卵鶏

- ・飼養戸数は25戸で、前回に比べ3.8%減少した。
- ・成鶏めす飼養羽数は541万4,000羽で、前回に比べ9.7%減少した。
- ・1戸当たり成鶏めす飼養羽数は14万2,800羽で、前回に比べ9,200羽減少した。

一般社団法人 岩手県畜産協会

〒020-0605 岩手県滝沢市砂込389番7 URL: <http://iwate.lin.gr.jp> E-Mail: info@iwate.lin.gr.jp

役員室・総務部(総務課)

電話(019)694-1300(代) FAX(019)694-1305 E-Mail: info@iwate.lin.gr.jp

経営支援部(指導課・業務課)

電話(019)694-1300(代) FAX(019)694-1305 E-Mail: shien@03chikusankai.or.jp

家畜改良部

電話(019)688-3028(直) FAX(019)688-3252(直) E-Mail: center@03chikusankai.or.jp

E-Mail: touroku@03chikusankai.or.jp

家畜衛生部(衛生検査課)

電話(019)694-1271,1272(直) FAX(019)694-1273(直) E-Mail: ei-iwate@msg.biglobe.ne.jp